

授業科目 保健・医療・福祉学 研究特論	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士後期1年次 前期開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> ・不可
科目責任者	古川 照美 (保健・医療・福祉政策システム領域代表)		
担当者	大西 基喜、大山 博史、古川 照美、児玉 寛子、齋藤 圭介、坂下 智恵、相馬 正之、高橋 謙造、瀧澤 透、千葉 敦子、松村 健太、村上 眞須美、三好 美紀、安永 明智、吉池 信男		
1. 科目のねらい・目標			
ねらい 保健・医療・福祉に関わる複雑で多面的な課題について、学際的・総合的な視点から深く理解し、自らの研究の目的・意義・方法論を広い視座から検討し、洗練させていくための思考力と研究姿勢を育成する。 目標 1. 保健・医療・福祉の課題を学際的に理解し、複雑な社会的課題を広い視野で分析できるよう多角的に捉える力を身につける。 2. 関連領域の研究を俯瞰し、自身の研究テーマの位置づけを明確にすることができる。 3. 自らの研究の質を高めるための改善や、より洗練された研究方法の構築ができる。			
2. 授業計画・内容			
保健・医療・福祉領域の研究に取り組んでいる各講師が、以下の各専門領域での研究内容や最新の状況などを紹介するとともに、各講師の専門的視点から受講者の目指す研究につき討議・検討する。 16人の教員が各1コマを担当する。主な内容は以下のとおりである。 ・地域保健・ヘルスプロモーション ・栄養学 ・医学・医療 ・福祉政策 ・精神保健福祉			
3. 教科書、参考書			
授業時等に適宜提示する。			
4. 成績評価方法			
授業への参加度 10%、レポート評価 90%とします。成績は各担当教員において評価し、16人の担当教員の評価の平均点を成績とします。評価の視点は、課題の理解、論理的な一貫性、考察力とします。			
5. 受講要件			
特になし。			
6. 社会人学生に対する配慮			
土日中心に行います。			
7. その他			
講師によってはオンデマンドを可とします。オンデマンドの場合は別途、レポートを課します。			